

共通教科「情報」における 主体的な学びを図る指導の工夫

— Google Classroomのスライド・フォームの活用を通して—

特別研修員 情報 林 健太郎（高等学校教諭）



授業に対して、主体的に取り組めず
受け身の生徒が少なくない。

生徒の実態



受動的ではなく、自ら考え、主体的に学
習に取り組める生徒になってほしい。

教師の願い

Google Classroomの活用

実践授業「コミュニケーションとネットワーク」

【手立て1】主体的に取り組むためのスライドの活用(協働的な学び)

グループワーク

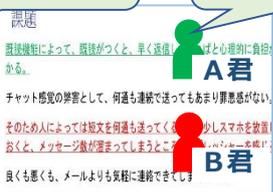
このページの構成をどう
する？

B君、このスライドを一
緒に編集しよう。

このスライドをどう表現
する？意見を聞かせて
よ！



グループでテーマを決める。



スライドの共同編集をする。
(A君、B君による共同編集)



他人の意見に触れ、自
分の意見をまとめる。

発表

興味・関心もち、
見通しをもって粘り
強く学習していたね。



全体の前で発表をする。

【手立て2】知識を身に付けるためのフォームの活用(知識の定着)

基礎的・基本的な知
識の定着を図ろう！



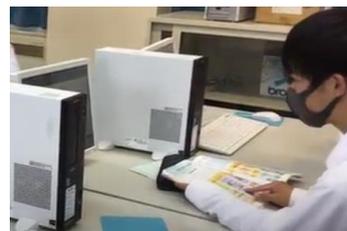
本時の振り返りのフォームを
配付する。

この問題分らないぞ、
教科書で確認しよう！



理解度を把握し、次の学習活
動につなげる。

どの問題が間違えてい
ただ？解説もあるか
ら分かりやすいなあ。



設問に対して自動採点による
自動フィードバック機能がある。

目指す生徒像

- ・基礎的、基本的な知識を身に付け、学んだことを生かせる生徒
- ・協働的な学びを通して、主体的に学習に取り組むことができる生徒

【成果】

- スライドの共同編集を通して、他人の意見に触れながら、試行錯誤を繰り返し、主体的に学習に取り組める生徒が見受けられた。
- フォームの自動採点で生徒の理解度を把握でき、設問に対して正誤に基づく自動フィードバックで、より知識の定着を図ることができた。

【課題】

- より協働的な学びになるよう生徒が議論しやすい身近な題材を取り上げるなどの工夫が必要である。
- スライドを協働で作成する過程で、他者の考えに触れ、自分の考えを広げたり、深めたりする活動時間を十分に確保する必要がある。